

地域貢献部門大賞

JA^{なんさい}南彩久喜農産物直売所連絡協議会

1 経営概要

- (1) 住 所 久喜市下清久谷塚
- (2) 代表者名 会長 齊藤 ^{ますらお} 大丈夫
- (3) 構 成 員 88人（平成18年設立）

2 受賞理由

- (1) しっかりとした組織力を持ち、活動目的がはっきりしており、JAならではの取組で、地域貢献と同時に雇用創出にも貢献している。
- (2) 地場産野菜の学校給食への供給品目は18品目で、旧久喜市内の給食の約20%が地場産となり、鷺宮や栗橋地区にも新たな供給の道筋ができ利用が拡大されている。
- (3) 新規直売野菜のブランド化と生産拡大に積極的に取り組んでいる。
- (4) 高齢者に配慮し、野菜を一袋に入れたカレーセットやカット野菜や試食販売、レシピを提示し、消費者の心をつかむ売り場づくりを心がけている。



JA南彩久喜農産物直売所連絡協議会の皆さん
(後列向かって左から2番目が会長の齊藤 大丈夫 氏)



学校給食向けのかぼちゃの現地検討会

地域貢献部門優秀賞

上里町^{しゅし}種子生産組合

1 経営概要

- (1) 住 所 上里町大字帯刀
- (2) 代表者名 組合長 金井 武司
- (3) 構 成 員 107人(昭和39年設立)

2 受賞理由

- (1) 作付面積、生産数量と品質の両面において、名実ともに「全国一の種子小麦産地」を築いた。
- (2) カントリーエレベーターを核に、栽培管理から調整・保管管理まで一貫した種子生産体制を構築している。
- (3) 平成25年度から種子小麦品種を「農林61号」から「さとのそら」に全面転換し、県の麦作振興に大きく貢献している。
- (4) 平成25年度の県内採種ほ面積に対するシェアは、小麦で約82%、さとのそらで90%と重要な役割を担っており、県内だけでなく、県外にも種子を供給している。



上里町種子生産組合の皆さん
(中央が組合長の金井 武司 氏)



さとのそらの現地検討会

地域貢献部門優秀賞

さかまい 熊谷市酒米栽培研究会

1 経営概要

- (1) 住 所 熊谷市箱田
- (2) 代表者名 会長 熱田 幸作
- (3) 構 成 員 8 人 (平成 1 8 年設立)

2 受賞理由

- (1) 新酒の仕込み時期を踏まえ、蔵元の要望にあわせた早期出荷を実現した。
- (2) 蔵元からの評価を得るとともに、酒造組合と連携したPRにより、「さけ武蔵」の産地を確立した。
- (3) 平成 2 4 年産は県全体で作付面積 2 3 ha の内、当研究会が 1 6. 4 ha とシェア 7 1 %を誇っている。
- (4) 本格生産のはじまった 1 8 年産で 1 3 社、2 4 年産は 1 7 社と県内蔵元の取扱いが拡大している。



熊谷市酒米栽培研究会の皆さん
(前列中央が会長の熱田 幸作 氏)



「さけ武蔵」の穂肥現地検討会

地域貢献部門優秀賞

おかだ ごうぞう
岡田 剛造

1 経営概要

- (1) 住 所 東松山市大字新郷
(2) 代 表 者 岡田 剛造

2 受賞理由

- (1) 昭和20年の終戦直後、開拓者として、東松山市新郷に入植し、農業とは無縁であった状態から地域に導入できそうなサツマイモや陸稲など栽培方法を試行錯誤しながら前向きに研究に取り組んだ。
- (2) その後、地域ぐるみで酪農部門を導入し協力しながら酪農経営を広めて定着に尽力した。
- (3) 昭和63年には東松山市内で16.5haの飼料イネ「はまさり」が栽培されるなど、飼料用イネの生産・流通体制が確立され全国の先駆けとなっている。
- (4) 地域農家からの人望が厚く、人一倍責任感があり、平成18年に全国開拓農業協同組合連合会の会長に推薦され、現在も会長を努めており、埼玉県はもとより全国各地の農業の発展に貢献している。



岡田 剛造 氏



農作業風景